

## 国登録有形文化財(建造物)への登録を祝う



右/アレンさんゆかりの方など100人以上が参加し、登録を祝いました 左/記念館前で行われた除幕式



3月18日、「アレン記念館」国登録有形文化財(建造物)登録を祝う会が市内催事場で開催されました。翌19日には、アレン記念館前で、登録プレートの建立除幕式を挙行。合わせて記念館の見学会が行われました。



目黒 安子さん

元学校法人頌美学園理事長  
元アレン国際短期大学学長

アレン先生の教育は、「神を愛し・人を愛し・土を愛する」三愛精神と、シカゴ大学時代に学んだデュイの経験主義的な教育学の影響を受けています。地域の人々の暮らしを豊かにし「生きる喜びと働く楽しさ」を伝えようとしたのです。

この思いを多くの人に伝え、久慈市の地域振興や教育活動などに資するため、アレン記念館を活用して行ってほしいと思います。



平谷 京子さん

元久慈幼稚園勤務。園舎などを施工した平谷鉄男棟梁の義娘

アレン先生はピアノが上手で、演奏を聴くと心が洗われるようでした。私の結婚式は久慈社会館(久慈幼稚園)で挙げたのですが、そのときにも、先生がピアノを演奏してくれました。

晩年、アレン先生が久慈病院に入院されたときは職員が交代でお見舞いにいきました。私が幼稚園の行事や子どもたちの話をすると、とても喜ばれていました。



藤森 敏夫さん

市文化財保護調査委員。久慈幼稚園、頌美小学校、頌美中学校卒業生

「人は誰しものが宝物を持っている、それを皆のために使いなさい」と教えられました。自分の持つ「宝」を見つける、自分に何ができるかを考える、それはある意味とても厳しい教えでしたが、私の人生の支えにもなりました。

卒業後も、日曜礼拝などに行くたびに、アレン先生は「としおちゃん、よくきたね」と喜んで迎えてくれたことを覚えています。



アレンさんと平谷鉄男棟梁

### 名棟梁・平谷鉄男さん

久慈幼稚園の園舎建築には、当初は盛岡から棟梁が呼ばれました。しかし、ヴォーリズ建築設計事務所の要求する高い技術水準や西洋建築の困難さに手を焼き、何人もが辞めていきました。その時現れたのが、地元の平谷鉄男棟梁。建物を完成させた平谷棟梁は、技術を見込まれ、その後のアレン記念館などの建築も請け負うことになります。建築後も、息子の庄司さんとともに建物の修復・管理などを行いました。



川崎重工業久慈製鉄所

### 戦時中のアレンさん

戦時中、米国に帰国したアレンさんは、約2年間にわたり全米各地の教会をまわり講演を行いました。悪化する対日感情を懸念し、自らの経験を話し、日本人に対する理解を求めています。

久慈は、軍需物資を生産する製鉄所を擁していたにも関わらず、大規模な空襲や艦砲射撃の被害を受けませんでした。これは、アレンさんの嘆願によるものだという逸話も伝わっています。

こぼればなし...



# アレン記念館

国登録有形文化財(建造物)

## 登録有形文化財(建造物) 制度の概要

建築後50年を経過した歴史的建造物のうち、次の基準を満たし、一定の評価を得たものを文化財として登録。保存を図るとともに、街づくり・観光への活用を促す制度です。アレン記念館は②に該当しています。

- ①国土の歴史的景観寄与しているもの
- ②造形の規範となっているもの
- ③再現することが容易でないもの

タマシン・アレンさんの居住した建物であるアレン記念館。設計は、アレンさんの支援者でもあり、日本で数多くの西洋建築を手掛けたウィリアム・メレル・ヴォーリズが行っています。

地域の教育・福祉等の発展に貢献したアレンさんの住宅であるとともに、東北では数少ないヴォーリズによる近代化を示す洋風建造物で後世に残すべき貴重な文化遺産であるとして、平成28年11月29日、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



暖炉のある客室



台所



寝室①(ゲストルーム)



アレンさんの寝室②

